

## 船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第207号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成22年7月18日（日） 05時35分ごろ	
発生場所	阪神港堺泉北第5区の助松第1号岸壁 大阪府泉大津市小津島町泉北大津東防波堤灯台から真方位130° 1, 140m付近 （概位 北緯34° 31.1′ 東経135° 23.8′）	
事故等調査の経過	平成22年9月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客フェリー つくし、13,353トン 135998、阪九フェリー株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、一級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船体 右舷船尾部ペイント剥離 岸壁 緩衝板を支えるチェーン3本切断、コンクリート一部損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか23人が乗り組み、旅客357人を乗せ、車両195台を積載し、船首約5.70m、船尾約6.16mの喫水で、阪神港堺泉北第5区の助松第1号岸壁に右舷着けの着岸作業中、平成22年7月18日05時35分ごろ、右舷船尾部が岸壁に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、阪神港堺泉北第5区の助松第1号岸壁に右舷着けの着岸作業中、船首が少し左に開いた状態で後進したことから、右舷船尾部が岸壁に衝突した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、阪神港堺泉北第5区の助松第1号岸壁に右舷着けの着岸作業中、船首が少し左に開いた状態で後進したため、右舷船尾部が岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	